

第4回 記者ブリーフィング

「食品安全 ～この10年を振り返って～」

2013年7月5日(金) 15時30分～17時30分(受付開始 15時15分)

場 所: JAビルカンファレンス(経団連会館隣) 303会議室
 交通アクセス: 大手町駅からC2b出口直結

参加費: **無料** ご参加対象: 報道関係者 他 **25名**

話題提供者

- 野村 一正氏 (元時事通信社解説委員、元内閣府食品安全委員会委員)
 日和佐 信子氏 (雪印メグミルク(株)社外取締役、元全国消費者団体連絡会事務局長)
 山崎 洋氏 (関西学院大学名誉教授、元IARC多段階発がん研究部長)

開催趣旨・トピック

今から10年前、BSEの発生などを機に食品安全基本法が生まれ、食品安全委員会が設立されました。それによりリスクアナリシス(リスク分析)の考え方が新たに導入されることになりました。食品安全に詳しい講師をお迎えし、メディアの皆さんと以右のトピックを議論していく場にしたいと考えております。

- ◆この10年で食品安全にかかわる情報公開はどう変わったか
- ◆リスクコミュニケーションはどう進化していったのか
- ◆リスク評価はどう変わったか
- ◆リスクアナリシスへの理解はどう深まったか

タイムテーブル

- 15:30～15:40 **はじめに** リテラジャパン代表 西澤 真理子
 15:40～15:55 **情報公開と消費者** 日和佐 信子氏
 15:55～16:30 **リスク評価委員会のあり方
IARCの経験をもとに** 山崎 洋氏
 16:30～16:45 **リスク評価機関における
リスクコミュニケーションのあり方** 野村 一正氏
 16:45～17:30 **記者の皆さんとの議論**

登録・お問い合わせ

panel@literajapan.com宛に表題を「記者ブリーフィング」とし、氏名、ご所属(肩書き)、住所、電話番号を明記の上、お申し込みください。登録完了の返信メールや参加証は発行いたしません。定員が超えた場合のみご連絡差し上げます。FAXでもお申し込みを受け付けております。なお、報道関係者様ににつきましては、当日のご参加も歓迎いたします。

「記者ブリーフィング」事務局 担当:(有)アルバシエ

電話: **03-6450-0856** (祝祭日を除く平日9時から18時)FAX: **03-3767-8856** (24時間受付)

会場の場所



〒100-6890
 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル
<http://www.zenchu-ja.or.jp/conference#01>

- ◆大手町駅
東京メトロ/千代田線、半蔵門線、丸の内線、東西線、都営三田線
- ◆竹橋駅
東京メトロ/東西線



リテテジャパン「記者ブリーフィング」事務局 行

FAX:03-3767-8856

(このままご送信ください)

申込フォーム

「第4回 記者ブリーフィング」

参加者氏名			
会社・事業所名		部署名・役職名	
住所	〒 _____		
電話番号		E-mail	

連絡欄

タイムテーブル

- 15:30 ~ 15:40 **はじめに** リテラジャパン代表 西澤 真理子
- 15:40 ~ 15:55 **情報公開と消費者** 日和佐 信子 氏
- 15:55 ~ 16:30 **リスク評価委員会のあり方 IARCの経験をもとに** 山崎 洋 氏
- 16:30 ~ 16:45 **リスク評価機関における リスクコミュニケーションのあり方** 野村 一正 氏
- 16:45 ~ 17:30 **記者の皆さんとの議論**

お問い合わせ

「記者ブリーフィング」事務局 担当: (有) アルバシエ
電話: **03-6450-0856** (祝祭日を除く平日9時から18時)
FAX: **03-3767-8856** (24時間受付)
これまでの記者ブリーフィング(セミナー)はこちらから
<http://literajapan.com/>



LITERA JAPAN